

はじめに

今日、社会の変化は激しいものがあり、価値観の多様化、国際化、情報化、少子高齢化などが急速に進展し、様々な教育課題が山積しています。このような状況において、子どもたち一人一人に「生きる力」を培っていくことが、これからの教育には一層求められています。

川崎市総合教育センターは、平成16年度から、研究の総括主題を「豊かな学びをはぐくむ川崎の教育の創造」、副題を「共生を軸にして」といたしました。また、研究のキーワード「自ら学ぶ」「共に学ぶ」「学び続ける」については、学びの基本的な姿として前研究総括主題より踏襲しています。これらの主題等のもとに、一層川崎らしさがにじみ出る研究を心がけてまいりました。

今年度は、6つの研究分野を設定しましたが、各研究会議では、総括主題・キーワードを踏まえてそれぞれの研究主題を設定するとともに、調査・研究を進めるにあたっては次の3点を基本的な視点としました。一つ目は、学校教育、幼児教育、社会教育等広く教育一般にかかわる基本的課題に関する研究、二つ目は、学習指導、児童生徒指導、社会教育などにおける実践的課題に関する研究、三つ目は社会の変化や時代の進展などに伴って要請される先導的課題に関する研究です。

ここに、平成18年度に終結した各研究会議の研究内容を、研究紀要第20号としてまとめることができました。この研究紀要が、これからの皆様の授業や教育研究の充実・改善に役立つことができれば幸いです。忌憚のないご指導並びにご批評を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、それぞれの研究に対しまして、当総合教育センター専門員をはじめ多くの方々からご指導やご助言をいただきました。改めて深く感謝いたしますとともに、それぞれの研究にお力添えをいただきました関係の方々に厚くお礼申し上げます。

2007年5月

川崎市総合教育センター
所長 垣東 節夫

目 次

研究の基本構想及び取組	1
教育研究所連盟における発表	4
特別な教育的ニーズがある児童が在籍する通常の学級における授業の在り方 ・・・特別支援教育センター・カリキュラムセンター指導主事研究会議	5
小・中学校の連携を視野に入れたカリキュラムの基礎研究 ・・・カリキュラムセンター指導主事研究会議	15
日常的に指導できる情報モラルの指導をめざして ・・・情報・視聴覚センター指導主事研究会議	21
通常の学級における特別支援教育の在り方 ・・・特別支援教育センター指導主事研究会議	29
小学校と中学校との連携を中心とした不登校対策の研究 ・・・教育相談センター指導主事研究会議	39
「読解力」の育成をめざす算数・数学科の授業改善 ・・・算数・数学科研究会議	49
表現することを通して、考える力をはぐくむ理科授業 ・・・理科研究会議	65
川崎市の小・中学校における鑑賞教育の現状と課題 ・・・図画工作・美術科研究会議	81
「関心・意欲・態度」を育てる家庭、技術・家庭科の学習指導 ・・・家庭、技術・家庭科研究会議	97
「かかわり」を考えた学習指導の工夫 ・・・体育・保健体育科研究会議	113

多文化共生の社会をめざした国際理解教育	
・ ・ ・ 国際理解教育研究会議	1 2 9
参加・体験型人権尊重教育「K タイム」	
・ ・ ・ 児童生徒指導研究会議	1 4 5
自分自身の適性を見いだす力を育成するキャリア教育	
・ ・ ・ 高校教育研究会議	1 6 1
児童生徒の情報活用能力をはぐくむ映像教材の開発	
・ ・ ・ 映像製作研究会議	1 7 7
通常の学級における特別な教育的ニーズのある児童生徒に対する支援の在り方	
・ ・ ・ 特別支援教育研究会議	1 9 3
援助ニーズの高い児童生徒のいる学級への教育相談的かかわり	
・ ・ ・ 学校教育相談研究会議	2 0 9
国語表現における論理的思考力の育成	
・ ・ ・ 専門研修員による研究	2 2 5
教師ができる不登校の子どもたちへのよりよい支援の在り方	
・ ・ ・ カウンセラー研修	2 3 1
市内小学校英語活動の現状と方向性	
・ ・ ・ 小学校英語活動研究会議	2 3 7
健康に生きる力を育む保健委員会活動をめざして	
・ ・ ・ 健康教育研究会議	2 4 3
I C T活用指導力の向上をめざして	
・ ・ ・ 情報教育研究会議	2 4 9
幼稚園から小学校へ	
・ ・ ・ 幼児教育研究会議	2 5 3